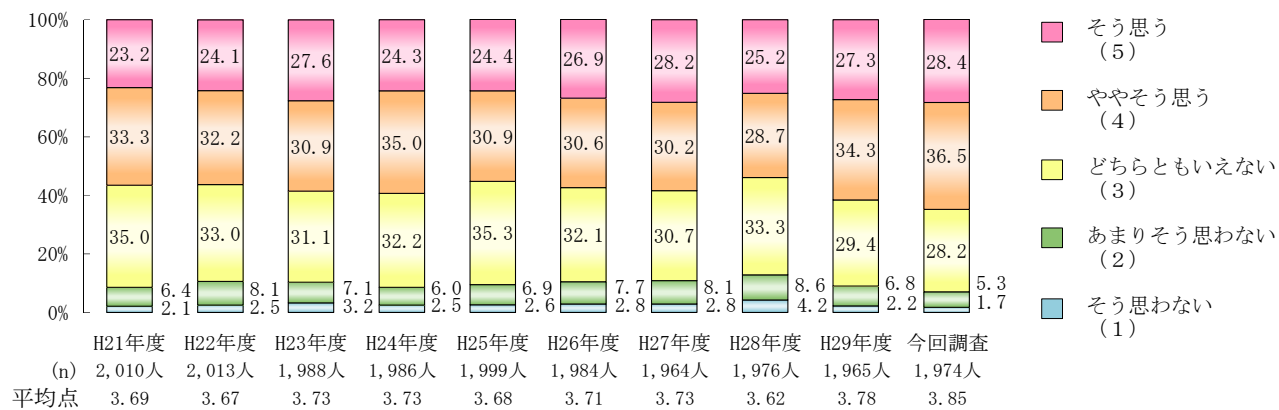
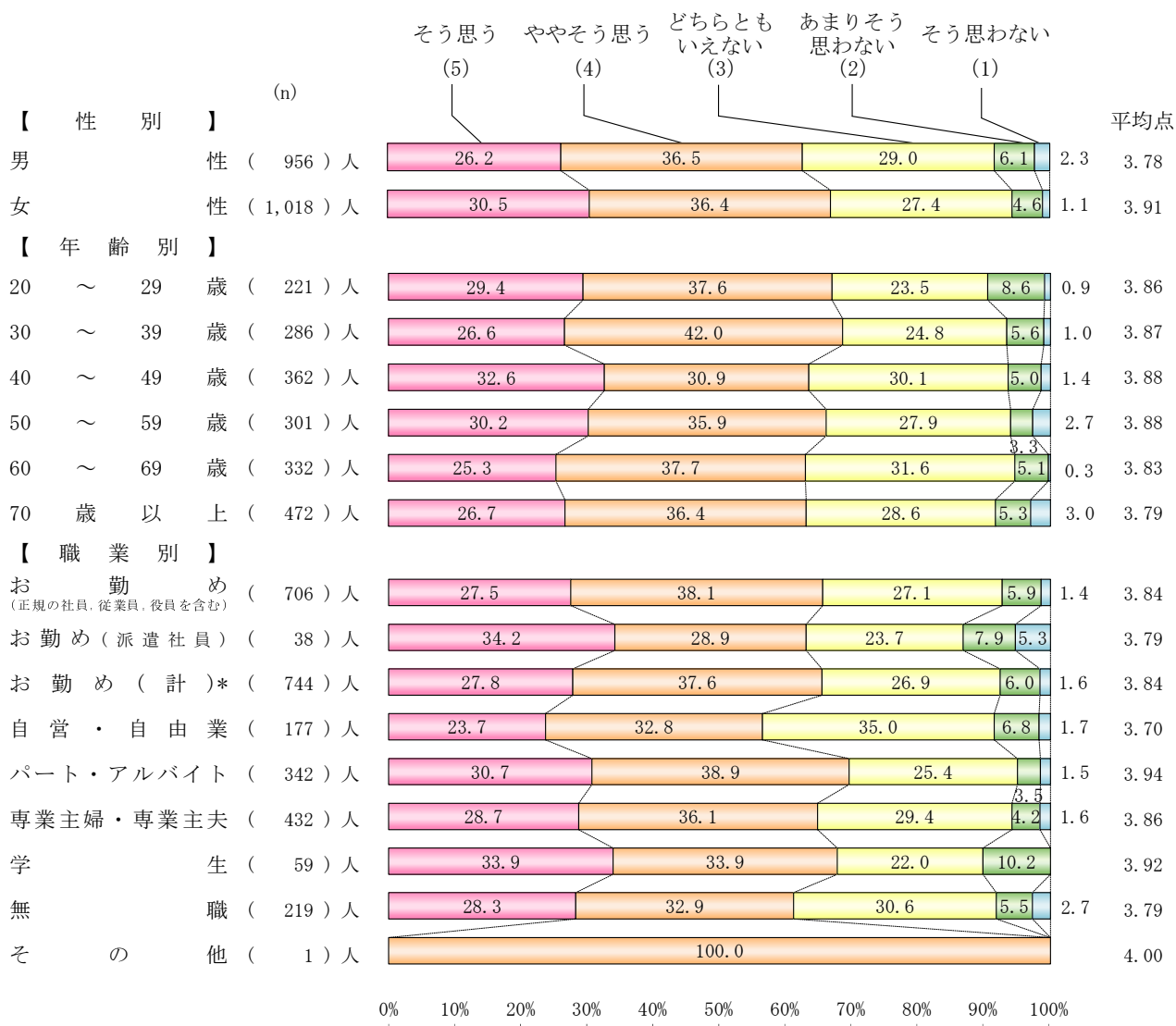


Q 6 (d) 裁判の結果（判断）がより納得できるものになる



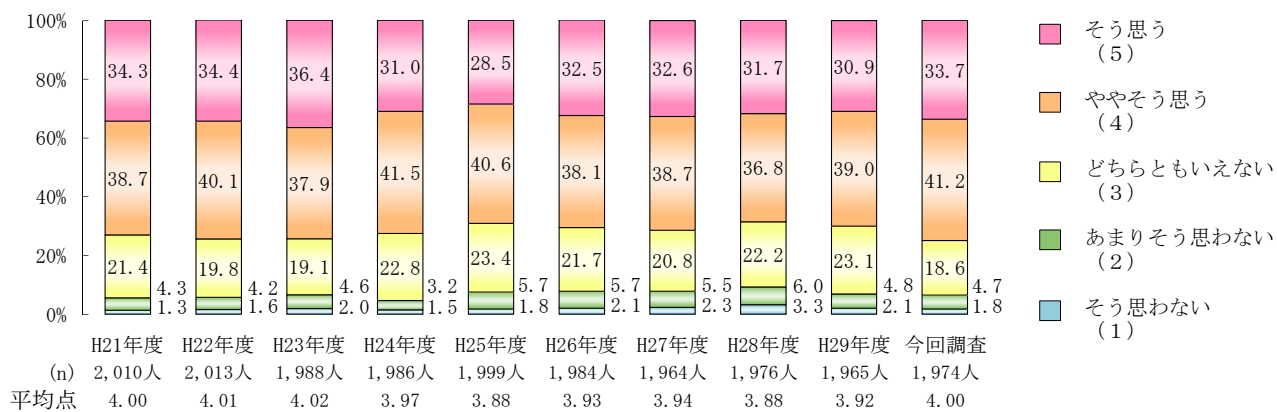
裁判員制度の実施により『裁判の結果（判断）がより納得できるものになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は64.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は7.0%となっている。



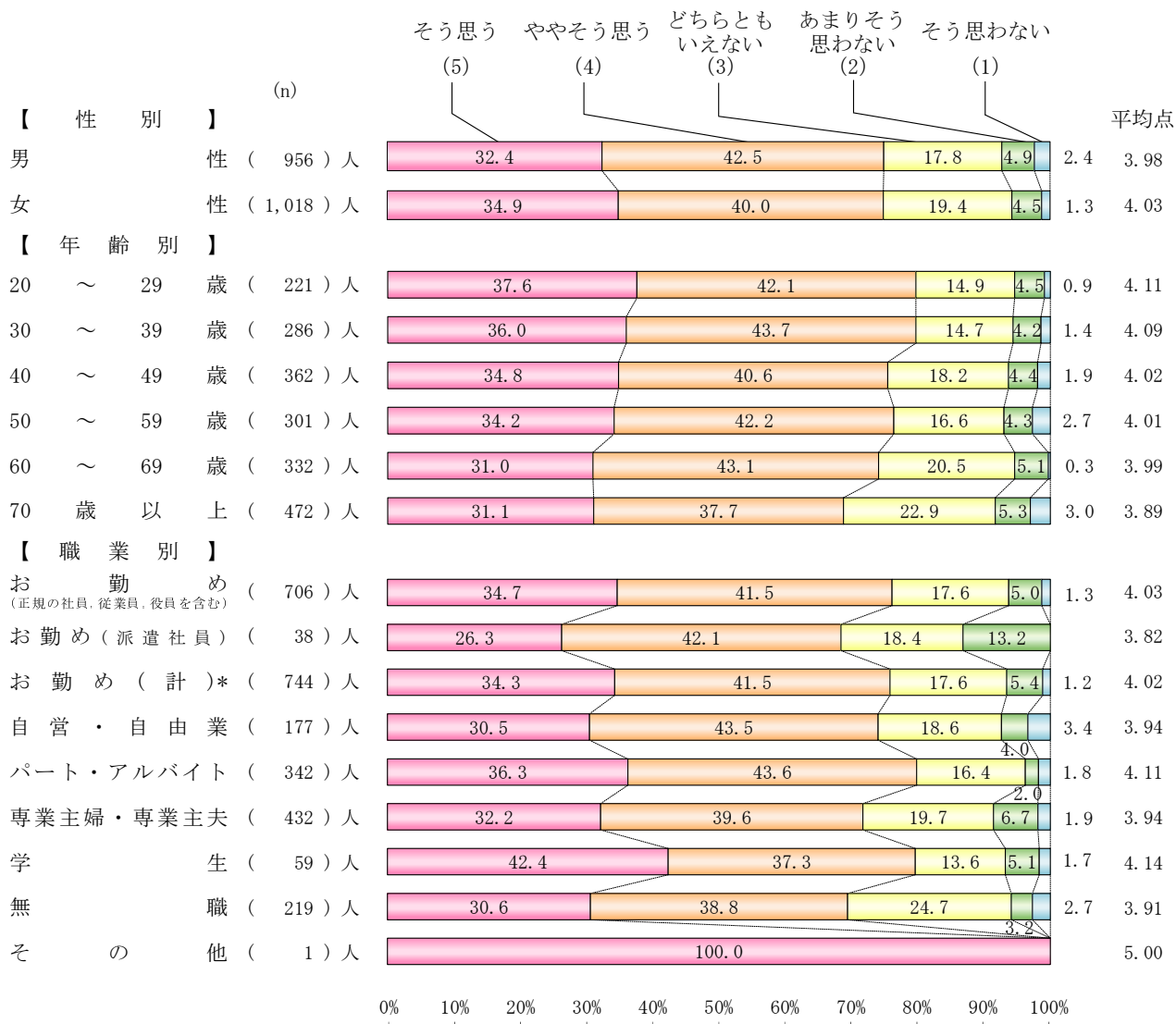
*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女では、女性が高くなっている。年齢別では、大きな差がみられない。職業別では、パート・アルバイトが最も高くなっている。

Q 6 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる



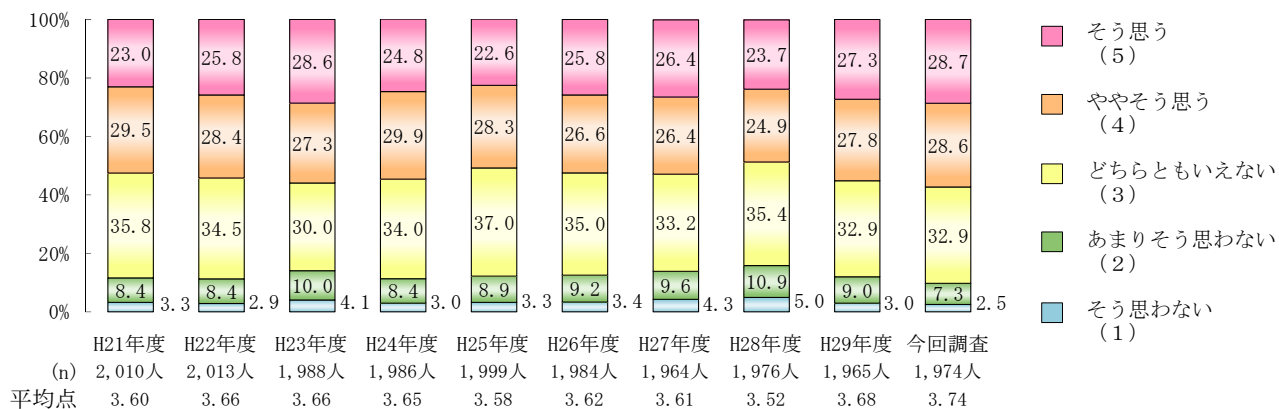
裁判員制度の実施により『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は74.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は6.5%となっている。



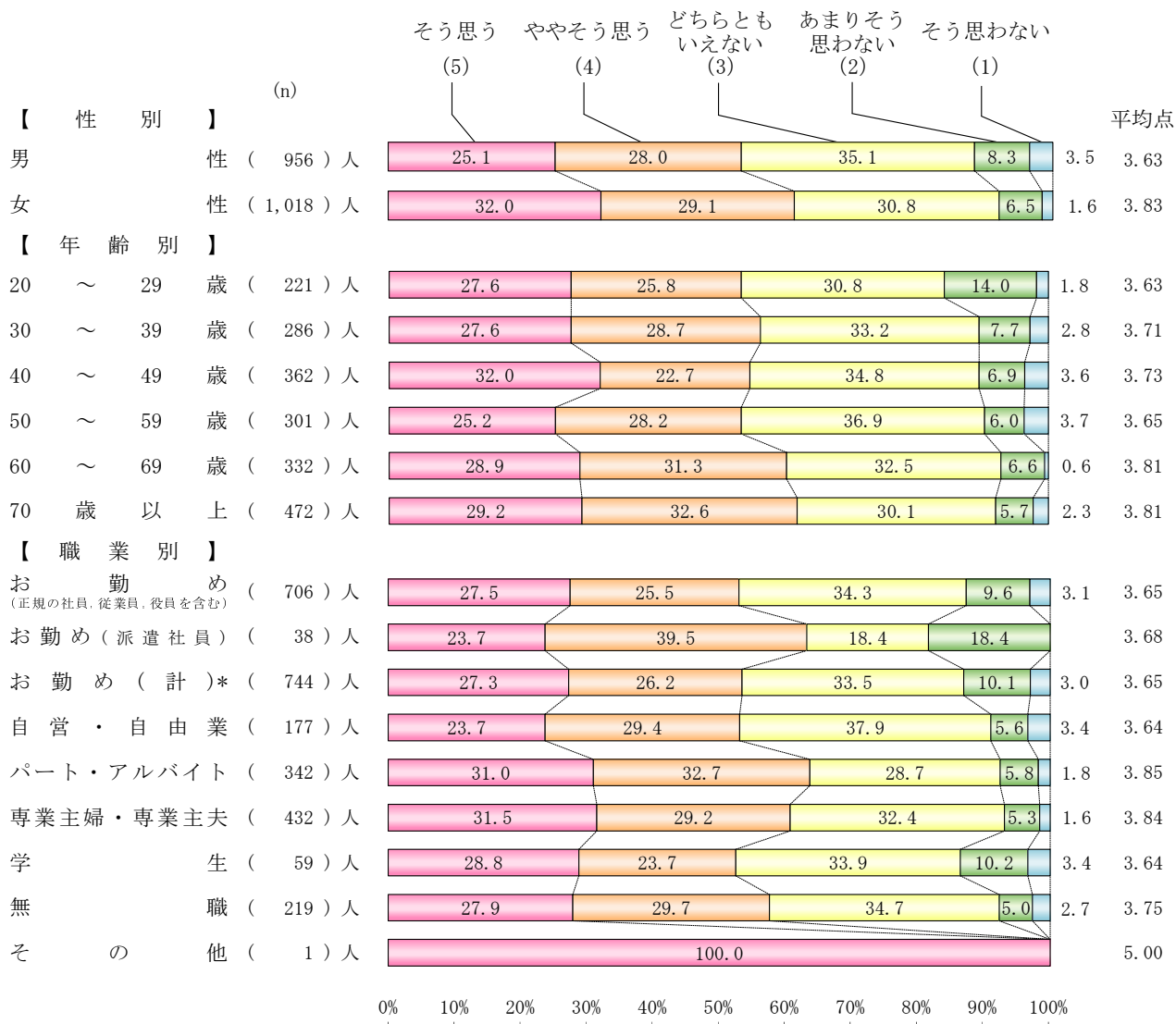
*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、20代と30代が高くなっている。職業別では、パート・アルバイトと学生が高くなっている。

Q 6 (f) 事件の真相がより解明される



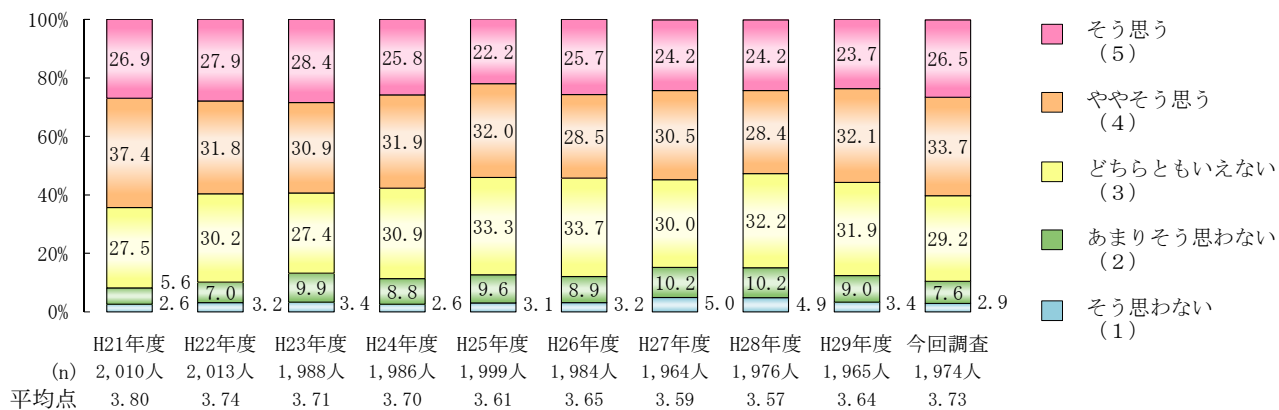
裁判員制度の実施により『事件の真相がより解明される』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は57.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は9.8%となっている。



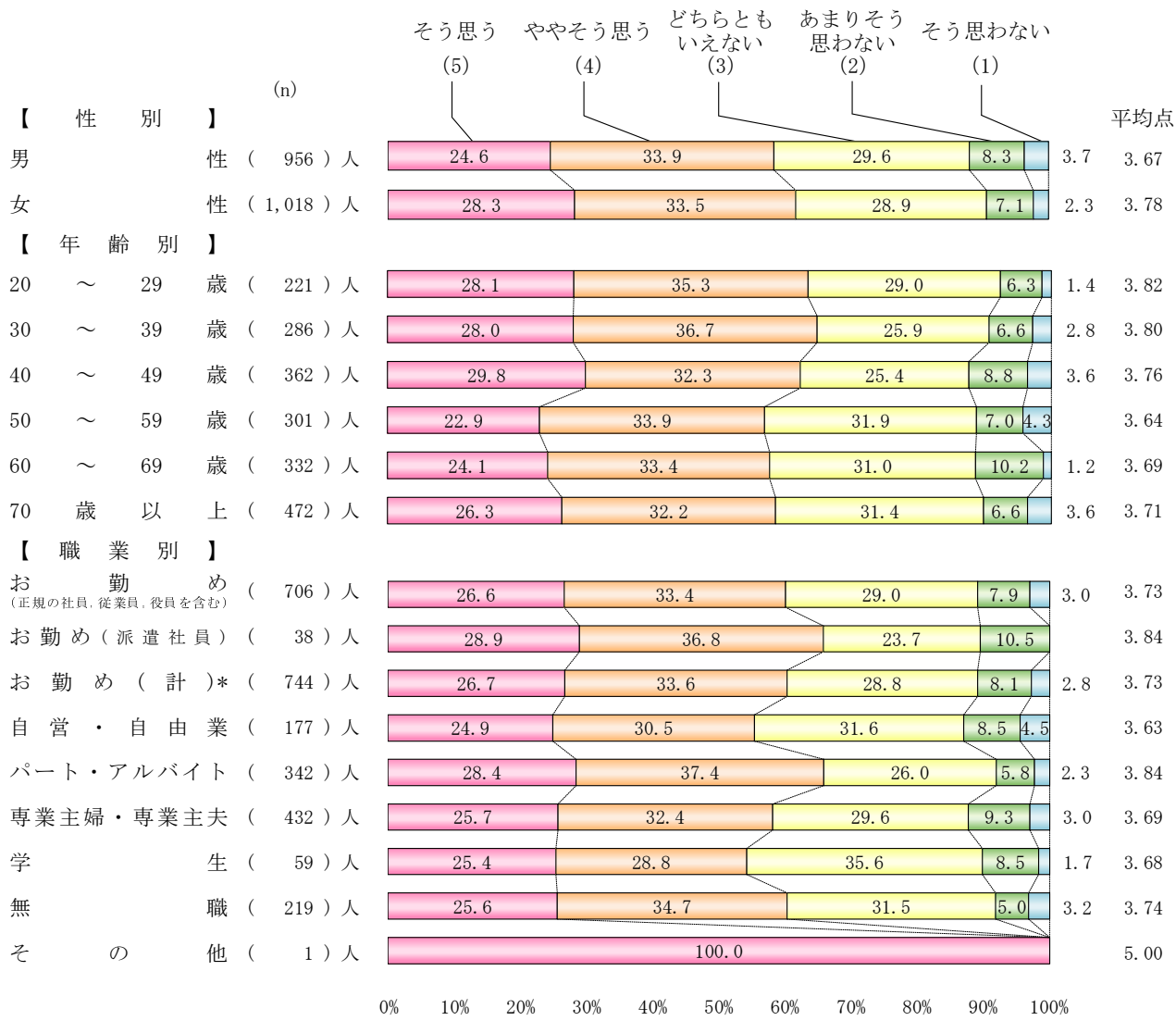
*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、女性が高くなっている。年齢別では、70歳以上が最も高くなっている。職業別では、お勤め (派遣社員) とパート・アルバイトが高くなっている。

Q 6 (g) 裁判の手続や内容がわかりやすくなる



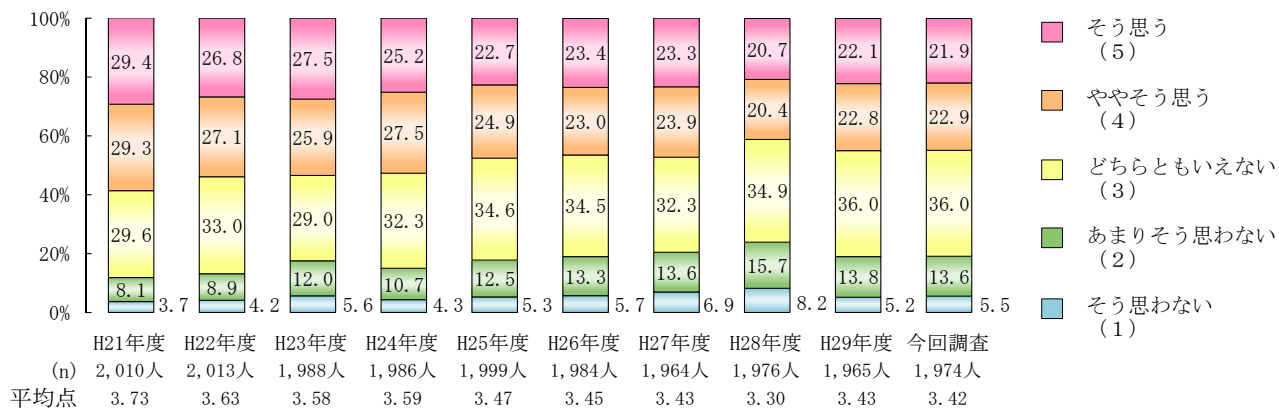
裁判員制度の実施により『裁判の手続や内容がわかりやすくなる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は60.2%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は10.5%となっている。



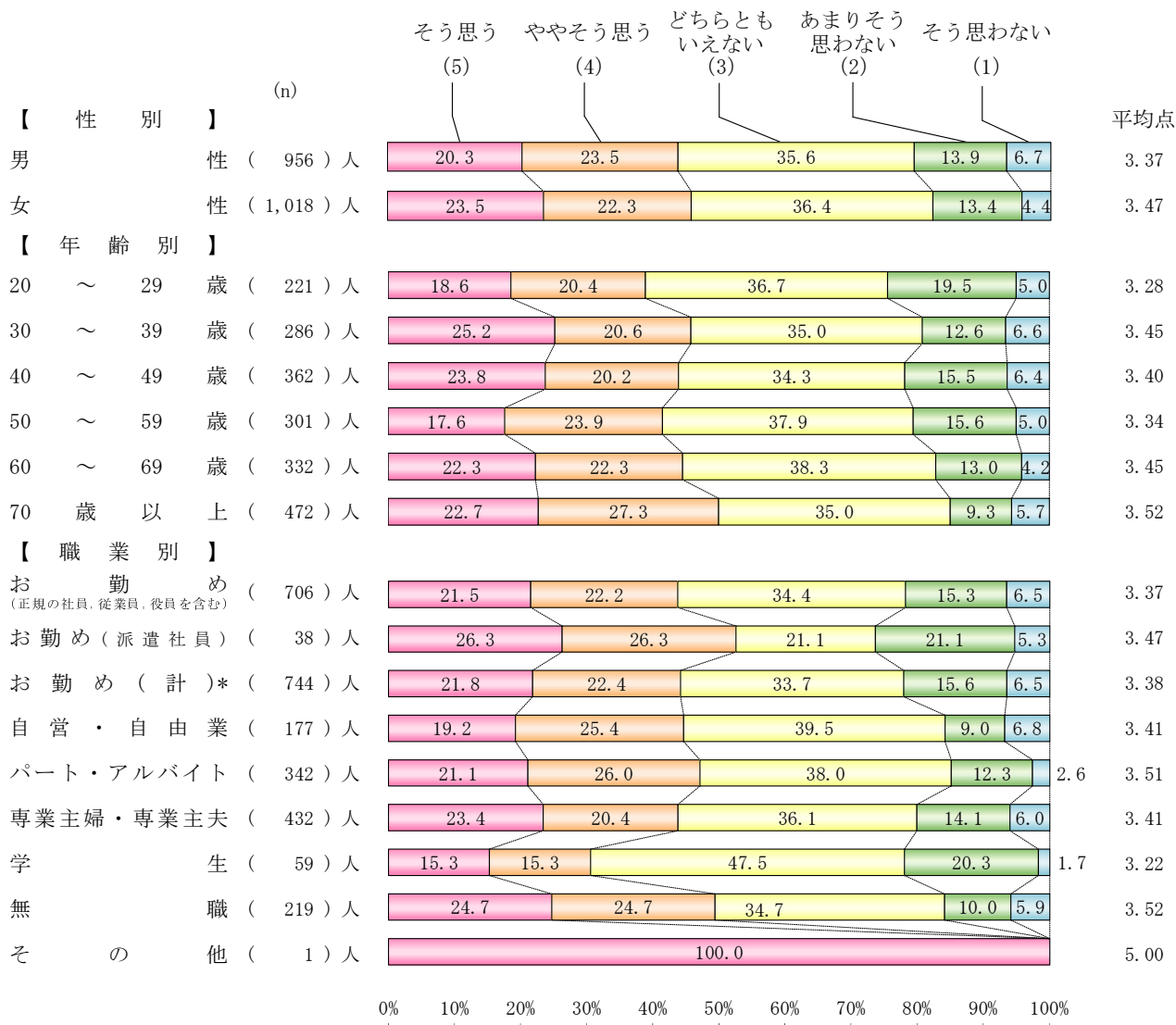
*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別では、大きな差はみられない。職業別では、お勤め (派遣社員) とパート・アルバイトが高くなっている。

Q 6 (h) 裁判が迅速になる



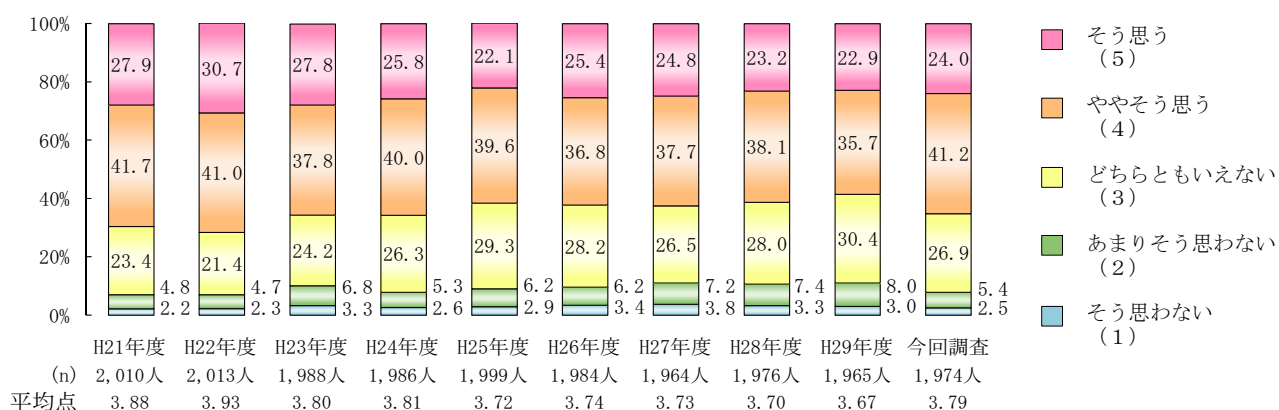
裁判員制度の実施により『裁判が迅速になる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は44.8%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は19.1%となっている。



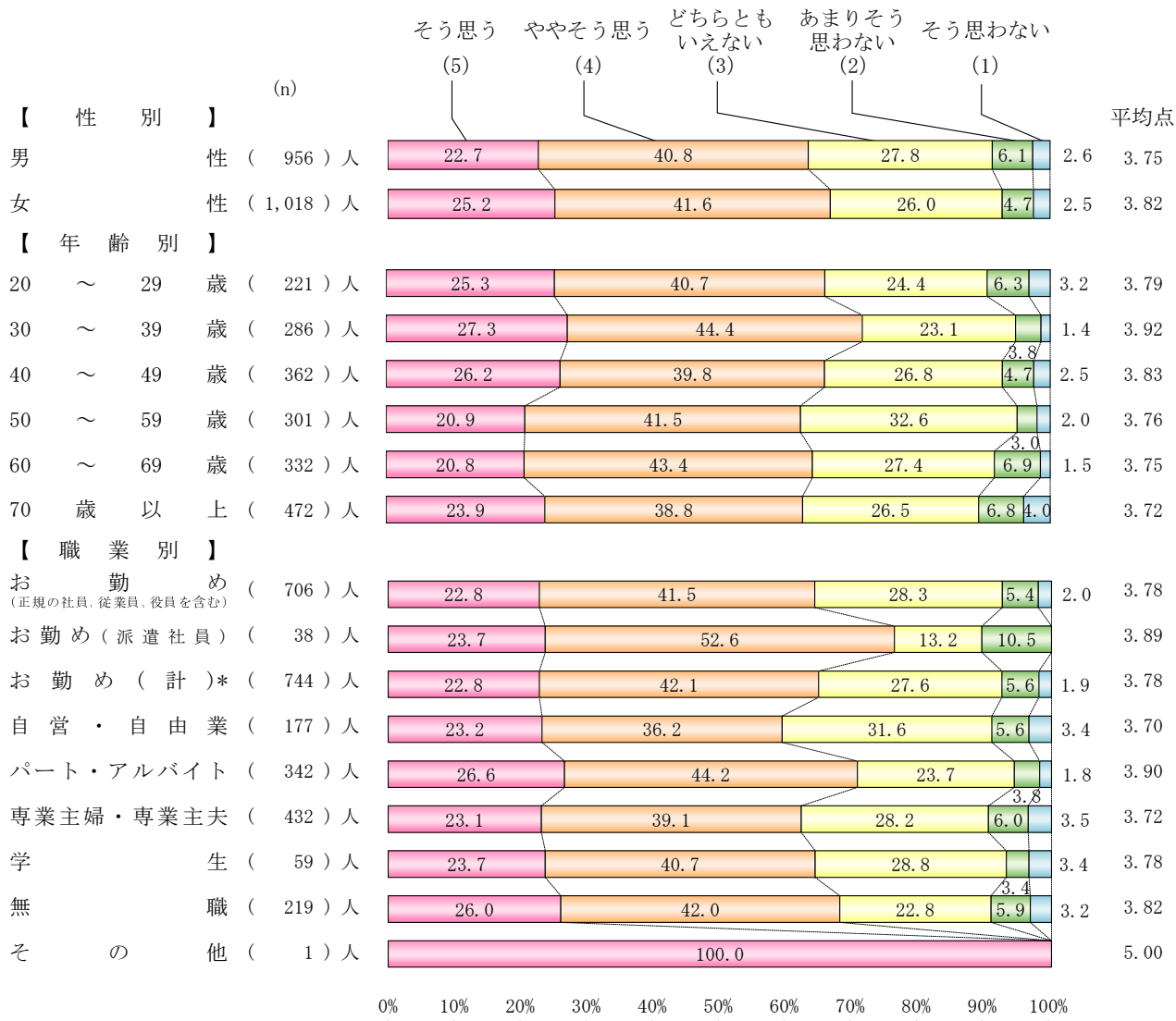
*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高くなっている。職業別では、学生が最も低くなっている。

Q 6 (i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる



裁判員制度の実施により『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになる』ことに対する期待では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は65.2%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は7.9%となっている。



*お勤め (計) は、「お勤め (正規の社員、従業員、役員を含む)」と「お勤め (派遣社員)」を合計したものである。

『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、30代が最も高く、職業別では、お勤め (派遣社員) とパート・アルバイトが高くなっている。